

哲學研究

第三十八卷 第一册

第四百三十五號

昭和三十年九月二十日發行



聖トマスに於ける esse と
existere について……………山田 晶

自然的秩序と目的論的秩序……………山中 良知
——カント目的論の構造と批判——

INTELLECTUAL HISTORY の範圍と
方法について……………中村 正雄

新着外國雜誌所載論文一覽

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために次の事業を行う
 - (一) 毎月一回研究会を開く
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 毎月一回「哲學研究」を發行する
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦した者に委嘱する
- 一、本會は會員組織とし、會員には資格の制限を設けない、學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することもできる
- 一、會員は會費として年一、〇二〇圓、又は半年五一〇圓を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け、會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、本會規約の改正變更は委員會の決議による

京都哲學會役員

委員

有賀鐵太郎	池田義祐	石田仁	井島勉	上野照夫	白井二尚	酒井修	重澤俊郎	島芳夫	園原太郎	高田三郎	武内義範	田中美太郎	長尾雅人	西谷啓治	野田又夫	松尾義海	三宅剛一	矢田部達郎
-------	------	-----	-----	------	------	-----	------	-----	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	-------

られなければならぬ。その場合他律即自律としての「自己ならぬ自己」は、そのあらゆる働きに於て最早自己中心より神中心に改革されて、「ウエストミンスター小教理問答」(The Westminster Shorter Catechism) に記されて居る様に「神の榮光をあらはし、神を永遠に悦ぶ」器となる。然らば、この様な神に従ふことによつて、神を讚美する自由を得ると云ふ、自律即他律を基礎づける「神律」は自然的秩序と目的論的秩序に如何なる具體的解答をあたへるか、これは新しい論題として後日の機會を待たねばならぬが、少なくとも私はカルベンの *Christianae relig. institutio* の内に説かれて居る聖定 (decree) と一般恩寵 (common grace) の教理に最も充實した具體的解答を求めることが出来るかと考へて居る。

(丁)

(筆者 四國キリスト教學園「哲學」助教)

前 號 目 次

相對性理論の辯證法……………田 邊 元

ハイデッガーと歴史の問題……………辻村公一

新着外国雜誌所載論文一覽
第三十七卷總目次

會告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文堂丙京都哲學會係宛に規定の會費（年一、〇二〇圓又は半年五一〇圓）をお拂込下さい

「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」

一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい、一年分（又は半年分）會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送附済を以て前金切れとし、會費の変更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に精算します

一、會員の轉居入退會等（編集事務以外的一切）の事務は弘文堂丙京都哲學會係へ御通知下さい
一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛に御送り下さい

京都哲學會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和三十年九月十五日印刷
昭和三十年九月二十日發行

編集人

京都大學文學部内

白代表者

酒井修

發行人

八坂淺太郎

印刷人

伊藤久春

印刷所

弘文堂印刷所

發行所

株式會社

弘文堂

京都市田中西浦町四〇

註文規定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金郵税共（一部、定價一〇〇圓・郵税八圓）前金にてお送り下さい

一、特に請求書及び領收書を要する場合は郵券八圓をお送り下さい

昭和三十年九月十五日印刷
（毎月一回）

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XXXVIII

September, 1955

No. 1

On esse and existere in

St. Thomas Aquinas Akira Yamada

The Natural and the Teleological Order

— *A Construction and Critique of Kant's*

Teleology Yoshitomo Yamanaka

On the Scope and Method of Intellectual

History Masao Nakamura

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

人
定
價
全
一
〇〇
圓